

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	文書管理システム運用事業			事業コード	2022
担当課等	所属名	総務部 総務課		担当係名	
	課長名	総務部 総務課	担当者名	佐藤 雄一	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード 8	施策	計画的で効率的な行政運営の推進	コード 2
	基本事業	公正な行政事務の確保	コード 4	関連予算 費目名	一般会計 2款 1項 2目 文書管理事業(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒ (開始年度 平成19年度～)					
事務事業の概要	文書管理システムを利用して文書のライフサイクルにおける効率化や正確性を向上させ、情報公開制度の充実へつなげるもの。					
根拠法令等	盛岡市本庁等文書規程					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
システムを利用した文書の交換や電子決裁等、意思決定の迅速化や先に導入されている財務会計システムとの連携による相乗効果が期待されたことから、平成19年度の試験的に導入を経て、平成20年度から本格的に導入した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
情報公開の推進への期待						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
文書のライフサイクルの総合的な管理をシステムを利用して効率的に行うとともに、システムに登録した情報をホームページ上での公開継続により情報公開を推進することが求められている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	システムを利用して作成した文書	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 作成文書数	単位	件
				B. 市のホームページアクセス数	単位	件
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 情報公開を進めるため、平成21年度文書の目録を公開した。  23年度計画(23年度に計画している主な活動)  より効率的なシステム運用を支援するとともに電子決裁比率を上げるよう働きかける。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 電子決裁利用件数	単位	件
				B. 情報公開ホームページ公開件数	単位	件
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	システムを利用することにより効率的な運用を可能とするとともに情報公開を推進する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 電子決裁比率 【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	%
				B. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	公正に行政事務が行われる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	行政訴訟件数(単位:件) 選挙争訟件数(単位:件)		



### 3. 事務事業の評価(See)

有効性評価	①成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
効率性評価	②事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	③人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある <input type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ

その内容:システム操作の習熟度が上がることに伴い、事務の効率化と電子決裁化率が高まることが期待され、ホームページでの情報公開関係の情報入手の推進が期待できる。



理由:システムには業者の規格を利用していることからこれ以上の削減はできない。

その内容:職員のシステム操作の習熟度が上がることにより、業務に係る時間数は削減が可能である。

### 4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 文書件名の公開を継続することにより、市政の透明性と公正性を一層図ることができる。職員のシステム操作習熟度向上支援と並行して、効率的な情報公開方法を構築する。 ②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) 文書件名の公開方法はおおむね構築されたが、より効率化を図ることで、全庁的に作業負担を減らす必要がある。より無駄のない文書件名公開サイクルを確立し、迅速に情報を市民に提供できるようにすることが求められる。
---------	---

### 5. 課長意見

一次評価	(1)評価結果 ① 有効性      ● 妥当                      ○ 見直し余地あり : ② 効率性        ● 妥当                      ○ 見直し余地あり		(2)全体総括(振り返り, 反省点) 昨年度から市ホームページ上で文書件名の公開を行っている。今後は電子決裁率の向上が課題になる。
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携		
			
	方向付けの理由と改革改善の内容 電子決裁率の向上のためにシステム改善等へ取り組む必要がある。		